



# あおばだい社協だより

発行日：令和 7年 11月14日(金)  
発行所：青葉台地区社会福祉協議会  
若松区青葉台西1丁目14-1  
TEL 090-7532-2649  
発行人：茅嶋かおる

市民「スレイキッズ」合同企画  
市民センター

やさしい認知症サポーター

## 「子どもレスキュー隊」誕生!



北九州市保健福祉局 認知症支援・介護予防センター指導のもと、認知症について学ぶ小学児童向けの「認知症サポーター養成講座「子どもレスキュー隊になろう!」」が9月27日、市民センターで開催されました。小学生と保護者を含む22人が参加し、学習に関連した2択クイズや絵本の朗読を通して認知症の特徴や接し方を楽しく学びました。

参加者アンケートでは「認知症がどんな病気かをもっと知れてよかったです」「困っている人がいたら助けたいと



思います」「困った人がいれば近くにいる大人の人に言おうと思います」などの感想が寄せられました。

今回の講座は、認知症になってもだれもが安心して暮らせるやさしいまちづくりにつながる機会となりました。また、子ども達が楽しみながら社会貢献への意識を高める貴重な機会となり、令和8年3月14日の青葉あんしん声かけ訓練への参加と次年度のウエルクラブ活動を通して子どもたちの取り組みが温かい社会を創る一步となることが期待されます。



社協「プチボ劇団」による寸劇

### 家庭のための医療・介護講座の紹介

「地方独立行政法人 芦屋中央病院」と「介護支援専門員・介護福祉士」による  
住み慣れた青葉台での暮らしに、  
より活かす講座を年間隔月で開催!

11月6日第4回「緩和ケア医療について」

芦屋中央病院緩和ケア病棟15床。一般の方からの相談には電話で直接病棟師長が対応いただける。▲櫻井院長による応答



10月2日第4回「排泄ケア」ではベッド上でモデル人形を用いた実技演習が行われ、声かけの大切さやちょっとした工夫とコツも学びました。

◀(株)いきいき永石氏による指導



### 青葉台地区社協賛助会員募集のお願い

地域福祉を推進する財源確保のために  
ご寄付を募っています。

青葉台地区社会福祉協議会では、「あおばGolGo!手伝い隊」活動を始めた地域福祉活動の財源として皆様からのあたたかいご寄附(賛助会費)を募っています。

いただいた寄附金は、「若松区社会福祉協議会」に納め、全額若松区の地域福祉活動に配分、その一部として青葉台地区社協に還元(青葉台での収集額の20%)されます。活動にご賛同いただけます企業・団体の皆様、青葉台住民の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

個人：ひと口1,000円

【寄附の受付窓口・お問合わせ】  
青葉台地区社会福祉協議会 事務局  
☎ 080-6424-1201